

特定非営利活動法人  
エイズ孤児支援NGO・PLAS

事業・決算報告書

2015年度

2014年10月1日－2015年9月30日



## Our Mission

HIV/エイズによって影響を受ける子どもたちが笑顔でいられる社会を実現する。

## Our Value

私たちが大切にすること

1. 地域で子ども達が育つことを大切にします
2. 地域と共に活動し、住民の自立を優先します
3. 前向きにチャレンジし、成長しつづけます
4. 人とのつながりを大切にし、お互いを尊重します

## Contents

Our Mission, Our Value	2
2015年度事業計画書に対する実績	3
海外事業 ケニア	4
海外事業 ウガンダ	6
国内事業 世界エイズ孤児デーキャンペーン	8
国内事業 世界エイズデーキャンペーン	9
国内事業 主催イベント、助成金実績、主なメディア掲載	10
会計	11

# 海外事業



写真：ウガンダ国ジンジャ県のシングルマザーが制作したペーパービーズピアス

## 2015年度事業計画書に対する実績

### エイズ孤児現地調査

ウガンダとケニアでエイズ孤児を取り巻く環境やニーズを把握するための現地調査を実施

**【実績】**  
両国で18歳のエイズ孤児を対象にインタビュー調査を実施。ケニアの調査では報告書を作成し、結果をもとに事業ドメインを決定。

**【次年度への継続】**  
ウガンダの調査では現在、報告書を作成中(2015年12月に完成予定)。

4ページ参照

### 新パートナー団体

ウガンダとケニアで新規パートナー団体を調査、また連携を実現するための現地調査を実施

**【実績】**  
ケニアの新規パートナー団体の調査は完了し、現地訪問の計画を開始。

**【次年度への継続】**  
ケニアでは現地訪問と新規パートナー団体選定を実施予定(2016年1月までに完了)。ウガンダの新規パートナー団体は2017年度以降に調査を開始予定。

5ページ参照

### カウンセリング事業

ケニア国キスム郡でエイズ孤児に対するカウンセリングをパートナー型パイロット事業として継続

**【実績】**  
前年度から継続して2014年12月まで事業を実施。パイロット事業としては完了。

**【次年度への継続】**  
ケニアの新規パートナー団体とカウンセリング事業形成に向けて調整予定。

### 収入向上事業

ウガンダ2県でエイズ孤児を抱えるHIV陽性シングルマザー15名に月30ドルの収入向上事業を提供

**【実績】**  
2県で16名のシングルマザーに対して収入向上事業を提供。収入向上額は月6ドルを達成。

**【次年度への継続】**  
2016年度も事業を継続。収入向上額や運営方法で改善が必要。現地での販路拡大のため現地コンサルタント登用予定。

6,7ページ参照

### エイズ孤児教育支援

ウガンダ国ジンジャ県でパートナー団体と連携して、エイズ孤児50名の就学支援を継続

**【実績】**  
パートナー団体が運営する養鶏事業(過去にプラス支援)で50名の孤児の就学支援を継続。

**【次年度への継続】**  
定期的なモニタリングで成果の継続を確認。

6ページ参照





写真：キスムの街から見えるビクトリア湖（2015年3月）

# 海外 事業

# KENYA

インド洋を望む国際港を配し、東アフリカの経済の中心。国際援助も受けながら国としてエイズ対策に力を入れて取り組んでいる。HIV感染率は5.3%（2014年）で近年減少傾向にあるが、感染者160万人は世界で4番目に多い。



Research



## エイズ孤児20名にインタビューを実施しました。

### キスム郡のエイズ孤児インタビュー

2015年3月にケニアのキスム郡で18歳のエイズ孤児20名を対象に彼らが抱える課題を調べるためインタビューを実施しました。その結果、半数の子どもたちがセカンダリスクールに進学していませんでした(全国平均(72%)よりも低い(55.0%))。両親の死亡、経済的困窮、成績が悪いこと、留年回数が多いこと、家事負担が原因として考えられます。HIV/エイズに対するスティグマ（否定的なレッテルが社会的弱者に押し付けられている状態）が地域にあったと答えた孤児は多く、エイズ患者やその家族が「犯罪者」や「性的にみだらな人」と見なされ、社会や地域から拒絶を経験していました。インタビュー結果から、今後ケニアでは教育支援（特にプライマリースクールの卒業）、心理的ケアやコミュニティの誤解や差別を軽減する支援に注力することを決定しました。



インタビューを実施した現地のケニア人団体(右・中央)とプラスの海外事業担当者(左)(2015年3月)



モニタリング時に現在の活動について話し合うモビライザーたち(2015年9月)

Prevention



## モビライザーのエイズに関する知識が事業終了後も向上していました。

### ウクワラ県地域住民によるHIV/エイズ母子感染予防啓発事業

2014年9月末をもってJICAの草の根技術協力事業の助成を受けて実施していた予防啓発事業は終了しました。当時モビライザーとして事業を支えていたスタッフを対象に、エイズに関する知識、啓発活動に関するモニタリングを実施しました。知識レベルの平均点は、事業終了時と比べ、現在の方が得点が高いことが分かりました(終了時8.69点、現在9.55点/12点満点)。これは事業終了後も活動を継続し、エイズに関する知識に触れていたことが影響したと考えられます。また啓発活動を行う頻度は、事業実施中と比べ低下していましたが、各グループとも月に2度以上の啓発活動を継続していることが分かりました。



## カウンセリング事業（パイロット）が終了しました。

### エイズ孤児に対する心理的・社会的カウンセリング事業

2014年6月～12月にエイズ孤児に対するカウンセリング事業を実施しました。エイズ孤児は貧困家庭に育ち、就学が継続できず、中退してしまうケースも多く見られます。また保護者や親戚による適切なケアが得られない場合もあり、そのような子どもたちはすることもなく日々を過ごしています。エイズ患者やその家族に対する差別が存在する社会の中で生きづらさを感じ、薬物や性産業、犯罪へと巻き込まれる可能性も高く、結果としてHIV感染確率も高くなります。この事業ではカウンセリングを提供することで、彼らが自身や家族と向き合い、将来に渡りより良い成長や発達を促し、生活の質の向上を目指します。家族もカウンセリングを受けることで、子どもに対する適切なケアを意識できるようにしました。100人の孤児が事業に参加し、カウンセリングを受けました。カウンセラーに希望をもらったり、保護者との関係を取り戻す孤児の姿が見られました。



写真：カウンセリング事業に参加したエイズ孤児たち（2015年3月）

### カウンセリングを受けた孤児たちの反応

カウンセラーと出会い両親が亡くなった後の苦しみを受け入れることができるようになった。またHIV検査も受け陰性だった。成績はクラスで62人中3番だった。カウンセラーが希望をくれた。

（プライマリースクール6年生、女子）

両親が亡くなり、学校にも通えなくなった。近所の子どもたちに差別された。カウンセラーと出会い、叔母の家で暮らせるようになり、来年からは学校にも通える。

（10歳、女子）

カウンセリングを受けてHIV検査を受診できた。両親はいないが、カウンセラーが自分の話をよく聞いてくれるのでカウンセリングを受けるのが好きだ。

（プライマリースクール生徒、男子）





写真：ルウェロ県のパートナー団体とシングルマザー（2015年3月）



## 海外事業

# UGANDA

肥沃な土地で農業が主要産業。1980年代から国を挙げてエイズ対策に取り組んだことで感染率が大幅に減少したが、その後の内戦の影響を受け、2000年代後半には感染率が増加しており、現在は7.3%(2014年)である。



ペーパービーズ事業開始から1年を迎えました。

### ペーパービーズネックレス制作によるシングルマザーの収入向上事業

2014年10月から開始したペーパービーズ事業が1年を迎えました。エイズ孤児を養うHIV陽性シングルマザーの多くは一人で家計を支えなければならず、収入が多くありません。教育費を払い続けることができず、初等教育を修了せず中退してしまう子どももいます。収入向上を目的として、シングルマザーにペーパービーズでできたネックレスを制作する機会を提供しました。16名のシングルマザーが事業に参加しており、63名の子どもたちが支援を受けています。



収入向上事業でシングルマザーが制作したペーパービーズネックレス(2015年3月)



事業で建設された鶏舎で養鶏ビジネスを継続しています(2015年2月)



現地の団体のみなさんが自分たちで工夫して事業を運営しています

### 養鶏ビジネスによるエイズ孤児教育支援事業

2013年に実施した養鶏ビジネス事業は、現地の団体が継続して運営を続けています。プラスでは完了した事業についても継続したモニタリングを行っています。鶏舎は清潔な状態で管理され、養鶏研修で得た知識に基づいて元気な鶏を育てています。一方で、自分たちで工夫している部分もあり、現在では鶏肉用、鶏卵用の2種類の鶏のヒナを購入し、バランスよく収入が得られるように工夫している様子が見られました。



# PAPER BEADS PROJECT

ペーパービーズネックレス制作によるシングルマザーの収入向上事業

写真：庭先で勉強をするシングルマザーの子ども（2015年6月）

## 庭先で勉強をする子どものすがたに見るプロジェクトの成果

現地で事業に参加している一人のシングルマザーの方のお宅を訪問することがありました。すると庭先で勉強をしているこどもがいました(写真上)。シングルマザーのお母さんのこどもでプライマリースクールに通う5年生の女の子です。家のなかだと、せまくて暗いため、勉強はそとですることもあるそうです。この光景を目にしたとき、「これがペーパービーズネックレス事業の成果だ！」と感じました。プロジェクト管理は数字で考えがちですが、プロジェクトの成果は実際のひとびとの生活のなかに垣間見られることを再確認しました。この子が庭先で勉強する光景を保っていくこと、これがプロジェクトの使命であり、庭先で勉強するすがたがプロジェクトの成果のひとつといえます。

## 自分たちで事業を評価する取り組み

プラスではプロジェクトの評価に「参加型評価」をとりいれています。現地のひとびとのオーナーシップを大事にし、あげる支援ではなく「つくる支援」を目指しているプラスでは、プロジェクトを実施している現地のひとたちが、自分たち自身でプロジェクトを振り返る機会を提供するため、現地で参加型評価を実践しています。

2015年2月にジンジャ県で事業を実施しているカユンググループを訪問しました。このとき参加型評価を実施しましたが、グループから課題として挙げられたのが、紙を裁断するためのペーパーカッターを持っていないことでした。カッターは街まで出かけてお金を払って貸してもらっていました。グループで話し合い、少しずつお金を貯めてカッターを買いたいという意見が出ました。

このような評価の在り方は、実はプラス自身にとっても挑戦です。プロジェクト管理では、プラス側で決めた枠に沿って動いていく方が容易ですが、プロジェクトのハンドルを現地の人たちに渡すことに躊躇しては、いつまでも「与える／与えられる関係」が継続されてしまいます。参加型評価のアプローチを使うことで、プロジェクトの管理を現地の人たちの手に委ねていこうと試んでいます。



ペーパービーズ事業の評価を自分たちで行い、改善点を見つけるために話し合うシングルマザーたち(2015年6月)



# 国内 事業

写真：世界エイズデーチャリティパーティーの様子

## 世界エイズデーキャンペーン2014

世界エイズデーとは、1988年にWHOが制定したもので、毎年12月1日、世界各地でHIV/エイズに関する活動が行われています。プラスでは、世界エイズデーに合わせて11月5日～2月4日まで世界エイズデーキャンペーンを行いました。チャリティパーティーやチャリティオークションを通して、多くの方に参加していただきました！

### Party

「ビジネス×社会貢献」をテーマに  
チャリティパーティーを開催しました。

#### いま話題のシェア型社員寮「月島荘」で開催

12月6日(土)に、話題のシェア型社員寮「月島荘」にて世界エイズデーチャリティパーティーを開催しました。

ゲストには、ビジネスのマインドを活かして多様なフィールドでご活躍中の3名をお迎えしトークを展開。現在の活動に力を尽くすようになった原点や活動を通して感じるビジネスと社会貢献やNPO活動とのコラボレーションの可能性、これからの夢やビジョン、プラスへのご期待などをお話いただきました。「ゲストのお話を聴いて、刺激になった!」「自分自身のこれからのキャリアを見つめなおす良い機会となった!」など、嬉しい感想を多数頂きました。

今回のパーティーで集まった収益112,449円は、ウガンダとケニアでのエイズ孤児支援活動に大切にに使わせていただきます。



マンスリーサポーターブースにも多くの方にお越し頂きました

### Auction

チャリティオークション、  
29名の方にご協力頂きました！

総額落札金額1,009,296円をエイズ孤児支援活動に  
使わせて頂きます

2014年11月5日～2015年2月4日の期間、Yahoo!オークションサイトのチャリティオークションページにて、著名人の方のサインや私物等を出品させていただきました。合計29名の方に協力していただき、総計出品数は104品 総額落札金額1,009,296円となりました。皆さまのご協力誠にありがとうございました

子どもたちの悲しい顔は見たくありません。世界中の子どもたちが笑顔でいられることができる日を願っています。



永井謙佑選手

(名古屋グランパス所属)



# 国内 事業



写真：世界エイズ孤児デーチャリティパーティーの様子

## 世界エイズ孤児デーキャンペーン2015

世界エイズ孤児デーとは、2002年にエイズ孤児問題への意識を高めることを目的として国連で制定されました。エイズ孤児とは、両親もしくは片親をHIV/エイズによって亡くした18歳未満の子どもを指します。プラスでは、5月7日の世界エイズ孤児デーに合わせて、5月7日～8月13日の期間中、世界エイズ孤児デーキャンペーンを行いました。

### Party

「Positive Living～未来を切り拓く一歩」  
チャリティパーティーを開催しました。

#### 注目の企業家、白木夏子さんが登壇しました

5月16日(土)に、株式会社シータス&ゼネラルプレス本社ビルにて世界エイズ孤児デーチャリティパーティーを開催しました！当日は、ご来場者49名、当日ボランティアの方を含めて総勢78名にご参加頂きました。今注目の起業家、ジュエリーブランドHASUNAの白木夏子さんをお迎えし、代表の門田と2名でのトークをお届けしました。強い意志を持って様々な困難を乗り越え、現在の事業を軌道に乗せてきた二人の熱いトークに、来場者の皆さんも熱心に聞き入る姿が見られました。フリータイムでは、会場内のあちらこちらで、スタッフと来場者、また来場者の方同士での話に花が咲く様子が見られました。今回のパーティーで集まった収益198,663円は、ウガンダとケニアでのエイズ孤児支援活動に大切にに使わせていただきます。



プロジェクト内で作られた色鮮やかなペーパービーズのアクセサリも人気でした

### Auction

チャリティオークション、33名の方にご協力頂きました！

総額落札金額1,128,725円をエイズ孤児支援活動に使わせて頂きます

2015年5月7日～2015年8月13日の期間、Yahoo!オークションサイトのチャリティオークションページにて、著名人の方のサインや私物等を出品させていただきました。合計33名の方にご協力いただき、総計出品数は115品、総額落札金額1,128,725円となりました。

差別や困難な中であっても笑顔で一生懸命生きているエイズ孤児達「こどもたちのえがおに未来を」私たちにできることはじめましょう！



東尾理子さん（タレント）



写真：ボランティアデイ参加者の皆さん

## 主催イベント・その他の活動実績

国内  
事業

月例のPLASRoom、PLASMeetupを合わせ2014年度は計6回実施しました。また、今年度はボランティアデイを二回開催した他、ペーパービーズ特設サイトの開設、初めての卓上カレンダーの制作・販売等、日本から気軽にエイズ孤児支援に参加できる取り組みを行いました。

Event

- 定期主催イベントPLASRoom/PLASMeetup  
定員20-60名程度で実施する主催イベント。プラスの活動をお伝えしました。2014年度（2014年10月～2015年9月）は計6回実施、合計89名がご参加下さいました。
- ボランティアデイ  
タグ付けなどのボランティア作業を一緒に行い、プラスの活動に理解を深めるイベントで、今年度より開始し、7月と8月の2回実施しました。

campaign

2014年8月19日～10月10日までの期間で実施したクラウドファンディング。初めてのクラウドファンディングでしたが、179名の支援者の方々の

ご協力で達成率113%、226万円の寄付金を集める事に成功しました！三年後までに150名のお母さん達に仕事を作り、500名のエイズ孤児に支援が届けられるよう活動してまいります。



助成金・企業寄付実績

- ・独立行政法人国際協力機構草の根無償資金協力事業
- ・Panasonic NPOサポートファンド
- ・アーユス仏教国際協力ネット NGO組織強化支援事業助成金
- ・NPO法人ENPOWER

他

主なメディア掲載

- 新聞/雑誌 毎日新聞地方版
- ネットメディア
  - ・良品計画良品計画様の対談シリーズ「良品計画社員と学ぶNGO・NPOの活動」でプラスへのインタビューを掲載して頂きました。
  - ・武蔵野大学様の学報「武蔵野Journal」内で、代表の門田のインタビューを掲載して頂きました。
  - ・another life様で、代表：門田のインタビューを掲載して頂きました。
  - ・「DtoDコンシェルジュ」様「社会貢献ジャーナル」で活動をご紹介頂きました。



(特活)エイズ孤児支援NGO・PLAS

自 2014年10月1日 至 2015年9月30日

<b>【経常収益】</b>		
<b>【受取会費】</b>		
正会員受取会費	60,000	
<b>【受取寄付金】</b>		
受取寄付金	10,686,704	
<b>【受取助成金等】</b>		
受取助成金	7,442,599	
<b>【事業収益】</b>		
事業 収益	710,641	
<b>【その他収益】</b>		
受取 利息	2,081	
為替 差益	△ 9,921	
経常収益 計		18,892,104
<b>【経常費用】</b>		
<b>【事業費】</b>		
(人件費)		
給料 手当	7,670,936	
通 勤 費	515,673	
法定福利費	986,195	
人件費計	9,172,804	
(その他経費)		
業務委託費	99,753	
海外プロジェクト費	297,661	
印刷製本費	29,931	
会 議 費	17,328	
旅費交通費	1,145,611	
通信運搬費	485,782	
消耗品 費	497,381	
広告宣伝費	1,419,989	
保 險 料	20,620	
研 修 費	60,552	
支払手数料	167,615	
外 注 費	600,000	
雑 費	9,715	
その他経費計	4,851,938	
事業費 計		14,024,742
<b>【管理費】</b>		
(人件費)		
給料 手当	1,000,000	
通 勤 費	67,256	
法定福利費	128,622	
福利厚生費	7,705	
人件費計	1,203,583	
(その他経費)		
印刷製本費	78,378	
会 議 費	43,500	
旅費交通費	6,500	
通信運搬費	843,501	
消耗品 費	420,106	
水道光熱費	36,348	
地代 家賃	557,800	
研修費	49,200	
支払手数料	335,452	
雑 費	17,918	
その他経費計	2,388,703	
管理費 計		3,592,286
経常費用 計		17,617,028
当期経常増減額		1,275,076
<b>【経常外収益】</b>		
経常外収益 計		0
<b>【経常外費用】</b>		
経常外費用 計		0
当期正味財産増減額		1,275,076
前期繰越正味財産額		7,802,781
次期繰越正味財産額		9,077,857

特定非営利活動法人 エイズ孤児支援NGO・PLAS  
〒110-0005 東京都台東区上野5-3-4 クリエイティブOne秋葉原ビル7F  
TEL:03-6803-0791 info@plas-aids.org  
www.plas-aids.org/